

萬世大路

東北中央自動車道 (福島～米沢北) 通信

第17号 平成23年9月 発行



工事紹介 ぱーと13

トンネルズリ

『ズリ』とは土木用語で、トンネルの掘削工事で掘り出される土石・岩石のくずのことです。現在栗子トンネルの掘削工事が行われていますが、このトンネルズリを東北中央道の盛土に使用します。また、今年度は米沢市（グラウンド整備）と山形県（米沢環状線工事）の事業にも使用します。

すでに運び終わった工事(①②③)もありますが、今年度に運ぶトンネルズリは合わせて約30万m³(リューベ)です！



(10t)トラックで約 60,000 台分
小学校にある25m プール約800杯分

栗子トンネル工事から出る土(ズリ)を運搬・盛土する工事です。

⑥上郷地区道路改良工事

請負会社:太田建設(株)

工期:H23年7月～H24年1月

⑦金谷地区道路改良工事

請負会社:(株)松田組

工期:H23年7月～H23年11月

⑩刈安道路改良工事

請負会社:那須建設(株)

工期:H23年8月～H23年12月

⑪小瀬地区道路改良工事

請負会社:渋谷建設(株)

工期:H23年8月～H23年12月



トンネル内からベルトコンベアで運び出されたズリは一度置き場に盛土され、ここから各現場に運ばれます！



栗子トンネル工事
ズリ置き場

栗子から各工事現場までの道路を、ズリ運搬のためのダンプが多く通ることになります。ルールを守って安全に運搬いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします！

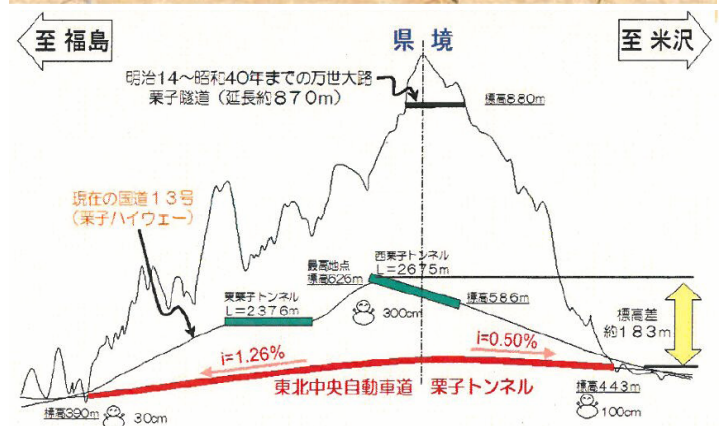
ばんせいだいろ
万世大路 ~ 栗子峠の歴史 ~

明治以前の福島～米沢間の往来は、伊達政宗が開いたといわれる米沢街道（板谷峠越えの道）が主でした。しかし、道幅は狭く急勾配の連続で、しかも冬期間は積雪が多く交通に支障をきたしていました。

= 第1代目 =

明治9年、山形県初代県令三島通庸の発令によって、当時としては異例の大規模な道路の建設が着工されました。この工事最大の難所であった栗子山隧道は延長870m、ほぼ山頂に近い標高880mを通過し、日本初の長大トンネルでした。世界にまだ3台しかないアメリカ製の掘削機械を使い、オランダから招いた技師のもとで最新の技術で掘り進められました。

明治14年に全線が開通し、同年10月に東北を訪れていた明治天皇を迎えて盛大な開通式を行いました。この時、明治天皇より「萬世ノ永キ二渡り人々ニ愛サレル道トナレ」という願いをこめて『萬世（万世）大路』の名前を賜りました。



初代栗子山隧道



2代目栗子隧道



この2つの坑口は平行して隣合わせにあります！

= 第2代目 =

昭和の時代に入り、人馬交通から車も通れるようにと道路の拡幅や木橋をコンクリート橋や鋼橋に架け替える改良工事が行われ、昭和11年に2代目栗子隧道が完成しました。

これらのルートは、冬は3mを越す積雪、夏は霧の発生など厳しい気象の中での通行でした。

万世大路は、平成8年文化庁選定「歴史の道百選」に指定されていて、今年（2025年）は明治14年開通以来130年になります！！



= 第3代目 =

万世大路は昭和27年に一級国道13号に指定されました。

その後、昭和30年に入り国内の経済発展に伴い進展した自動車交通に対応できるよう、ルートの見直しを行い現在の西栗子トンネルと東栗子トンネルによるルートに変更。昭和41年に「国道13号（栗子ハイウェイ）」が完成し、これに伴い万世大路は役割を終え廃道となりました。

現在の西栗子トンネル



= 第4代目 =

現在建設中の東北中央自動車道の栗子トンネルは、万世大路の直下を約9kmの延長で通過します。現在の国道13号のトンネルに比べ坑口標高を約180m下げることにより、「より信頼性の高い・雪に強い」道路を目指します！



ご意見・お問い合わせ先
 国土交通省 東北地方整備局
 山形河川国道事務所 米沢監督官詰所

〒992-0011 山形県米沢市中田町 260-2
 TEL : 0238-37-5570 FAX : 0238-37-5575

